

# がんサポ通信

## ～第24回日本緩和医療学会学術大会に参加して～

6月21日(金)、6月22日(土)の二日間、横浜で開催され、  
当院から、がんサポスタッフ4名が参加しました。  
全体では、約8000名の参加者でした。  
今回の学術大会のメインテーマは「Art & Science」です。

“患者は最善の医療およびケアを受ける権利があり、  
何らかの治療が、患者本人の尊厳を損ねたり、  
苦痛を増大させたりする可能性がある時には、  
治療の差し控え、撤退を考慮するべきである。

生存はそれ自身が至上のものではなく、  
大切なことは生きるに値する生活である。

私たち医療者は、時に治療を差し控える事はあるが、  
決してケアを差し控える事はない。

痛みが和らぐと、人間は人間らしさを取り戻す。”

という言葉が印象的でした。(北海道医療大学名誉教授 石垣靖子先生より)



【第37号】  
令和元年9月27日  
がん診療支援・  
緩和ケア委員会  
発行

## 地域がん診療連携拠点病院公開講座

7月29日(日)ホテルリッチ&ガーデン酒田にて開催されました。

講師には、保坂サイコオンコロジークリニック院長、聖路加国際病院診療教育アドバイザーの保坂 隆先生をお招きし、「がんを通して学ぶ現代の死生観」と題して、ご講演いただきました。

当日は雨にも関わらず、会場はほぼ満員の大盛況で、151名もの一般市民・医療福祉関係者の方々に参加していただきました。身近な、「空海」や「トトロ」の話などを織り交ぜつつ、日々の診療の経験上の話などから、わかりやすく死生観についてお話いただきました。



## ～タクティール®ケア講習会が開催されました～

9月14日(土)～9月15日(日)当院講堂にて開催され、受講者は13名でした。(医師1名、看護師12名)

タクティールとは、ラテン語の『タクティリス(Taktillis)』に由来する言葉で、「触れる」という意味があります。その意味が示すように、手を使って10分程度、相手の背中や手足を「押す」のではなく、やわらかく包み込むように触れるのがタクティールケアです。タクティールケアは心地よさや安心感、痛みの軽減をもたらしてくれます。

タクティールケアの事を知りたい、患者さんにタクティールケアをして欲しいなど、ご質問・ご要望がありましたら、認定看護師までご連絡ください。

